

2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 I C
 コード番号 4769 URL <https://www.ic-net.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 齋藤 良二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 三浦 光大 TEL 03-4335-8188
 半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	4,943	7.5	459	3.0	485	△3.8	447	29.3
2024年9月期中間期	4,598	7.8	445	23.5	504	31.8	346	33.3

(注) 包括利益 2025年9月期中間期 386百万円 (△10.5%) 2024年9月期中間期 432百万円 (25.2%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	60.23	—
2024年9月期中間期	46.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	7,927	6,152	77.6
2024年9月期	8,110	6,026	74.3

(参考) 自己資本 2025年9月期中間期 6,152百万円 2024年9月期 6,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※ 2024年9月期の期末配当金額35円には、特別配当1円を含んでおります。

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,586	3.2	481	8.6	536	△2.9	436	13.6	58.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	7,732,270株	2024年9月期	7,732,270株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	297,308株	2024年9月期	296,908株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	7,435,195株	2024年9月期中間期	7,468,262株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第2四半期（中間期）決算短信【添付資料】2ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
(4) 研究開発活動	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(その他の事項)	7
(重要な後発事象)	8

1. 経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、景気は緩やかな回復基調を示しました。一方で、欧米諸国における高金利の継続や中国経済の減速、米国の通商政策の不透明感等、海外経済を巡る不確実性は、我が国経済の下押し要因となっております。さらに、物価の上昇傾向に加え、中東地域の地政学的リスクや金融資本市場の変動にも注意が必要であり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス産業におきましては、クラウドシフトやビッグデータ、AI、IoT等の先端的技術を活用したDX推進の動きが活発化しており、企業の競争力強化のためのIT投資意欲が拡大すると見られています。

このような状況下、当社グループは、3か年の中期経営計画「co-creation Value 2025」の3年目を迎えており、長期ビジョン「VISION 2031」で目指す姿の実現に向け、研究開発や営業・マーケティング機能の強化、人材育成等、更なる成長の基盤づくりを着実に進めております。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は4,943百万円(前年同期比7.5%増)となりました。また、営業利益は459百万円(前年同期比3.0%増)、経常利益は485百万円(前年同期比3.8%減)、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては447百万円(前年同期比29.3%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ340百万円減少し5,484百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少531百万円及び受取手形、売掛金及び契約資産の増加178百万円によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ157百万円増加し2,443百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加172百万円、ソフトウェア仮勘定の増加19百万円及びソフトウェアの減少8百万円によるものです。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ493百万円減少し1,548百万円となりました。これは主に退職給付に係る負債の減少231百万円、賞与引当金の減少158百万円、及び未払法人税等の減少62百万円によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ184百万円増加し226百万円となりました。これは主に繰延税金負債の増加184百万円によるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ126百万円増加し6,152百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加187百万円、その他有価証券評価差額金の増加109百万円及び退職給付に係る調整累計額の減少170百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月8日に公表致しました数値に変更はありません。

(4) 研究開発活動

当中間連結会計期間における当社グループの研究開発活動の金額は53百万円であり、ITサービス事業に係るものであります。

なお、当中間連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,068,273	3,536,441
受取手形、売掛金及び契約資産	1,630,447	1,808,766
その他	126,000	139,470
流動資産合計	5,824,722	5,484,678
固定資産		
有形固定資産		
建物	158,090	158,090
減価償却累計額	△15,920	△19,892
建物(純額)	142,170	138,198
工具、器具及び備品	82,695	84,242
減価償却累計額	△40,424	△45,828
工具、器具及び備品(純額)	42,270	38,414
土地	1,269	1,269
有形固定資産合計	185,710	177,882
無形固定資産		
のれん	125,933	110,191
特許権	1,708	3,523
商標権	4,306	4,061
ソフトウェア	44,249	36,248
ソフトウェア仮勘定	3,296	23,124
電話加入権	1,734	1,734
無形固定資産合計	181,229	178,884
投資その他の資産		
投資有価証券	1,759,874	1,932,058
敷金及び保証金	89,088	85,778
会員権	10,960	10,960
保険積立金	20,686	21,911
繰延税金資産	18,166	20,243
その他	19,640	15,352
投資その他の資産合計	1,918,417	2,086,305
固定資産合計	2,285,356	2,443,071
資産合計	8,110,079	7,927,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,602	273,710
未払金	442,869	448,690
未払費用	100,245	76,393
未払法人税等	124,712	62,041
未払消費税等	122,853	131,445
預り金	12,669	10,849
賞与引当金	685,716	526,938
役員賞与引当金	21,500	11,770
退職給付に係る負債	231,358	—
その他	22,105	6,196
流動負債合計	2,041,632	1,548,035
固定負債		
退職給付に係る負債	32,673	33,379
役員退職慰労引当金	1,874	1,874
繰延税金負債	3,056	187,101
その他	4,600	4,600
固定負債合計	42,204	226,954
負債合計	2,083,836	1,774,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	407,874	407,874
資本剰余金	440,426	440,426
利益剰余金	4,404,159	4,591,737
自己株式	△251,592	△251,592
株主資本合計	5,000,867	5,188,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	855,213	964,314
退職給付に係る調整累計額	170,160	—
その他の包括利益累計額合計	1,025,374	964,314
純資産合計	6,026,242	6,152,760
負債純資産合計	8,110,079	7,927,750

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	4,598,005	4,943,386
売上原価	3,522,888	3,751,422
売上総利益	1,075,117	1,191,964
販売費及び一般管理費	629,308	732,941
営業利益	445,808	459,022
営業外収益		
受取利息	20	1,416
受取配当金	14,945	12,662
受取手数料	7,326	10,560
保険解約返戻金	34,186	—
雑収入	3,082	2,533
営業外収益合計	59,561	27,172
営業外費用		
子会社本社移転費用	—	640
自己株式取得費用	490	—
雑損失	6	9
営業外費用合計	497	649
経常利益	504,873	485,545
特別利益		
投資有価証券売却益	18,968	—
退職給付制度改定益	—	189,858
特別利益合計	18,968	189,858
税金等調整前中間純利益	523,842	675,404
法人税、住民税及び事業税	128,774	34,183
法人税等調整額	48,756	193,404
法人税等合計	177,530	227,588
中間純利益	346,311	447,815
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	346,311	447,815

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	346,311	447,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111,900	109,101
退職給付に係る調整額	△25,907	△170,160
その他の包括利益合計	85,992	△61,059
中間包括利益	432,304	386,756
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	432,304	386,756
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の事項)

当社グループの事業は、情報サービス事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であり、顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

		前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
ITソリューション	ソフトウェア開発	2,156,320千円	2,435,112千円
	システム運用	2,273,289	2,407,419
ITサービス		168,395	100,854
顧客との契約から生じる収益		4,598,005	4,943,386
その他の収益		—	—
外部顧客への売上高		4,598,005	4,943,386

(重要な後発事象)

(株式取得による会社の買収)

当社は、2025年4月4日開催の取締役会での決議に基づき、2025年4月10日に株式会社日本画像配信の全株式を取得いたしました。これにより、株式会社日本画像配信は当社の連結子会社となりました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社日本画像配信

事業の内容 システムエンジニアリングサービス、ソフトウェア受託開発

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、関東エリアを中心にソフトウェア開発、インフラ設計構築、システム運用支援、ITコンサルティングなどのトータルのソリューションを提供するITソリューション事業と、自社開発のITサービスを提供するITサービス事業を展開しております。

現在、当社グループでは、中期経営計画に基づく資本戦略として、人材投資、事業・研究開発投資、M&A投資を推進しており、将来の事業拡大と持続的成長のための積極的な資本投下を継続しております。

本件の株式取得先である株式会社日本画像配信は、システムエンジニアリングサービスおよびソフトウェアの受託開発を手掛ける設立18年の企業であり、当社グループのITソリューション事業と親和性が高い企業です。

本件株式取得による相乗効果は以下に掲げる内容を想定しております。

- ① IT業界ではクラウドシフト、AI、IoT、5Gなどの技術革新が進む一方で、慢性的な技術者不足が続いております。株式会社日本画像配信を当社グループに迎え入れることで、人員体制の拡大、技術力の向上を図り、事業基盤をより強固なものとするのが可能になります。
- ② 当社は株式会社日本画像配信と連携し、受託開発案件を共同で推進することで、同社の受託開発体制を強化するとともに、将来的には当社グループの自社ITサービス開発におけるリソースの最適化を進め、受託開発事業の生産能力向上とITサービス事業の拡大を図ってまいります。
- ③ 株式会社日本画像配信の代表取締役である手島秀忠氏には、当社グループ加入後も引き続き代表取締役として経営に参画していただき、同氏の地域におけるビジネス展開の知見と当社の経営ノウハウを融合し、事業成長を加速させる予定です。

本件は、当社の中期経営計画における成長戦略の一環として、主要地方都市における事業基盤を確立し、システムエンジニアリングサービスおよび受託開発の拡大を図るために実施するものです。これにより、当社グループ全体の企業価値向上に寄与するものと考えております。

(3) 企業結合日

2025年4月10日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価とした株式取得により、議決権の100%を取得したことによりです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	260,000千円
取得原価		260,000

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。